

アジア二輪車産業連盟(FAMI)について

(FAMI 紹介パンフレット日本語仮訳)

当冊子は 2000 年 12 月に発行された FAMI 紹介英文冊子を翻訳し、内容を更新したもの。

目的

アジア各国の二輪車産業団体は、市場動向や技術問題などについて意見を交換するために、1991年から8年にわたり「アジア二輪車会議（AMC）」を開催してきた。

AMCは、ACEM（欧州二輪車製造者協会）、USMMA（米国二輪車製造者協会）、国際二輪車製造者協会（IMMA）からのオブザーバー参加を得るなど、国際的な二輪車会議として認識されてきた。

しかし、アジアが世界最大の二輪車生産地域であることから、AMCの役割はさらに拡大すると予想された。このため、アジア各国の二輪車団体は、アジア二輪車産業を代表し、且つ、ACEMやUSMMAに匹敵する常設組織をもつ、FAMI（アジア二輪車産業連盟）を設立することにした。

FAMI 設立の背景を示すキーワードは、以下の通り。

より進んだ技術を追求する。

より優れた安全性を追求する。

環境にやさしくあり続ける。

FAMI 設立の目的は、以下の通り。

マーケティング、販売、製造、研究、設計、その他関係する全ての問題に関する話し合いなど、アジアの二輪車産業の発展に向けて協議を促進する。

二輪車産業に関係する技術問題や関連法規の研究など、アジアの二輪車産業のあらゆる局面においてアドバイザーとして活動する。

すべてのメンバーの参加する会議を開催するなど、アジア各国間の二輪車産業および団体の関係を親密にする。

二輪車産業ならびに関連する全ての課題について、データと情報を収集、作成、更新、最新化、供給を行い、その文書を整理・保管する。

活動

調査企画委員会

二輪車は、アジアにおいて非常に重要な交通手段である。このため、二輪車の安全性を高め、より社会に適合したものとすることが、重要である。調査企画委員会は、健全なモータリゼーションの発展に向け二輪車のイメージを改善する活動を行っている。

また、二輪車の安全性、運転する楽しさ、環境親和性に対する公衆ならびに行政の理解を深めるために「二輪車フォト・コンテスト」を実施した他、二輪車ユーザーに安全運転の大切さを理解してもらうために、また、それらをマスメディアに報道してもらうために、キャッチフレーズや標語を作っている。

さらに、21世紀における「インフォメーション・テクノロジー」の活用を図るため、先進技術に対する関心と信頼性の高まりに呼応する最初のステップとして、FAMIメンバー間の情報交換の促進をするために「FAMI ウェブサイト」を構築している。

技術委員会

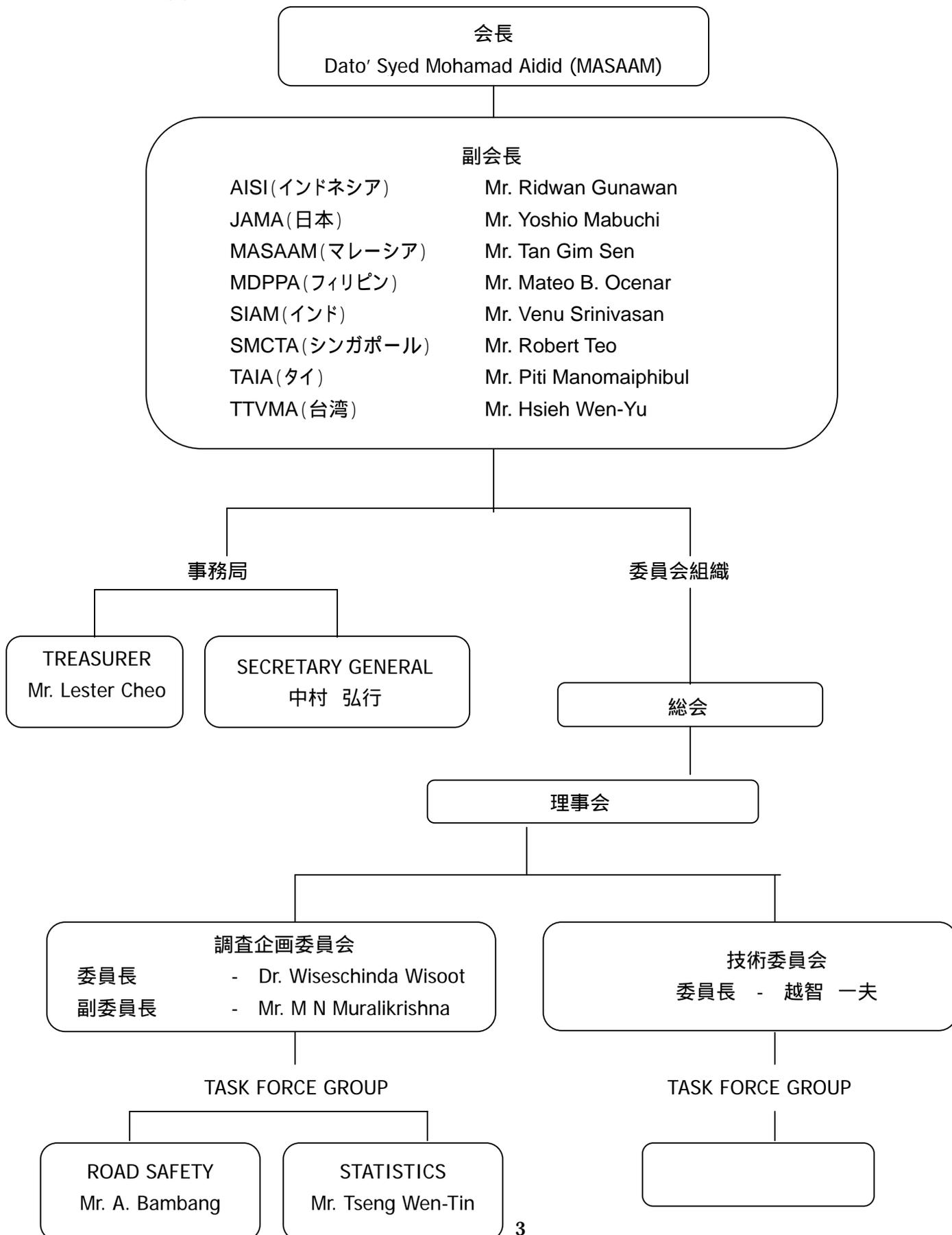
技術委員会は、排ガス、騒音、車両安全性の分野において FAMI の各加盟団体を代表する技術専門家により構成されている。

技術委員会では、上記の3つの分野における技術的規制の調和に関係する幅広い問題について、突っ込んだ議論と意見交換が行われている。話し合いは、関連技術問題ごとに作成されたアクション・プランをベースに行われている。

技術委員会のメンバーは、このような話し合いを通じ、調和された技術規則策定に関する専門知識を吸収し、この専門知識を自国での環境および安全問題への取り組みに反映している。

このようなプロセスにより、消費者、行政、メーカーの全てが大きな利益をえることが可能となる。

組織図



沿革

1991年10月25～26日	第1回アジア二輪車会議（東京）。
1992年10月21～22日	第2回アジア二輪車会議（バンコック）。
1993年10月21～22日	第3回アジア二輪車会議（東京）。
1994年10月24～25日	第4回アジア二輪車会議（バリ）。
1995年10月25～27日	第5回アジア二輪車会議（東京）。
1996年10月9～11日	第6回アジア二輪車会議（ペナン）。
1997年10月22～24日	第7回アジア二輪車会議（東京） FAMI 設立にむけた第一回会合。
1998年11月30～12月1日	第8回アジア二輪車会議（バンコック）
1999年1月30日	FAMI、シンガポールにおいて法人登記。
1999年3月15日	シンガポールにおいて FAMI 設立総会。
1999年4月19日	シンガポールにおいて第1回理事会および臨時総会。
1999年8月26～27日	クアラルンプールにおいて第2回理事会、第1回企画委員会、第1回調査委員会、第1回技術委員会。
1999年11月26日	バンコックにおいて第2回調査委員会。
2000年1月11～12日	デリーにおいて第1回年次総会、第3回理事会、第2回企画委員会、第2回技術委員会。
2000年2月21日	バンコックにおいて第3回企画委員会。
2000年7月17～18日	ジャカルタにおいて第4回理事会、第4回企画委員会、第3回調査委員会、第3回技術委員会。
2001年2月2日	シンガポールにおいて第5回企画委員会、第4回調査委員会。
2001年3月13日～14日	台湾において第2回総会、第5回理事会、第4回技術委員会。
2001年12月21日	シンガポールにおいて第5回調査委員会
2002年3月25日～27日	バンコクにおいて第3回総会、第6回理事会、第6回企画委員会、第5回技術委員会。
2002年9月18日～20日	マニラにおいて第7回理事会、第1回調査企画委員会、第6回技術委員会。
2003年3月4日～6日	日本において第4回総会、第8回理事会、第2回調査企画委員会、第7回技術委員会。

メンバー紹介

AISIについて

(インドネシア)

団体の正式名称

Asosiasi Industri Sepeda motor Indonesia(Indonesian Motorcycle Industry Association)

旧称：PASMI

設立年月日：ジャカルタにて 1971 年 1 月 28 日 (PASMI として)

目的

インドネシアにおいて競争力と責任感を有する二輪車産業およびその関連業務を発展させるために政府のパートナーとなる。

二輪車関係者への利益還元を目指し、二輪車産業において波及力があり責任の所在があきらかな環境づくりを支援することで、社会全般の利益となる相乗効果および協力を通じ、公衆のために効率的な二輪車生産をおこなう上で会員をサポートする。

二輪車関係者の利益となる生産および販売システムの発展を推進するビジネス環境作りに努力する。

インドネシアの国内および国外において、二輪車の生産および販売で倫理の高い公正なビジネス慣行を普及させるために努力する。

活動

インドネシア二輪車産業を代表する AISI は、以下の目標を達成するために会員間の協調を図っている。

競争的性格を有しない分野において、二輪車に関する知識およびノウハウを共有化する。

FAMI、AAF、IMMA など国際二輪車団体の積極的かつ責任感あるメンバーとなる。

安全性、排ガス、規制、調和、その他のメーカー、ユーザー、行政規制担当部局、販売業者などにとって相互に利益となる活動を促進するために、会員間の協力を支援する。

個々の会員の要請する活動を支援する。

一般社会における二輪車のイメージ改善のための活動を支援する。

インドネシアにおいて、倫理観が高く、責任感のある公正なビジネス慣行が促進されるよう努力する。

二輪車産業およびその業務に関係する国内および国外の規制や政策を継続的にモニターし、必要ならば会員の対応を積極的にまとめる。

沿革

PASMI は、二輪車に対する需要増加およびインドネシア政府の二輪車産業育成計画により、1971 年 1 月 28 日に Hadi Topobroro 博士 (初代事務局長) などにより設立された。これま

で PASMI 会長には、Sukahar 中将、Subronto Laras 氏、Sucrisno 博士が就任している。PASMI は常に、柔軟性の高い組織でありたいと考えている。つまり、重要な仕事の大部分は、会員から指名された常勤または非常勤の有能なスタッフにより行われる体制がこれまでとられているのである。PASMI は、生命力あふれる強力な二輪車産業およびビジネスを創り出すという政府の努力に積極的に協力している他、バリでの調印されたバリ宣言に基づき創設された FAMI など国際二輪車活動に積極的に参加している。

JAMA について

(日本)

正式名称

JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

目的

自動車産業の健全な発展を促し、世界レベルで経済および社会福祉に貢献する。JAMA は特に、アジア地域の二輪車産業の健全で持続可能な発展を促進するため、FAMI を通じアジアの二輪車産業と協力している。

活動

JAMA は、国内および国外の関連問題について日本の自動車産業を代表する他、社会の中の自動車産業のあり方や社会に対する自動車産業の参加の仕方、また、国際社会における自動車産業の現在および将来の役割に関する研究など、幅広い活動を行っている。

組織構成および役員（二輪車）

JAMA 二輪車特別委員会の下に様々な部会および専門家グループが組織されており、排ガスと騒音の低減、安全性の向上、インフラ改善、国際協力、技術規格の調和など、世界の二輪車産業がかかわる種々の問題に対して取り組みが行われ、具体的な行動が展開されている。

沿革

1967 年に設立された非営利業界団体で、日本の乗用車、トラック、バス、二輪車のメーカー 13 社により構成されている。JAMA の本部事務所は東京に、海外事務所はワシントン DC、ブリュッセル、シンガポールに、支部組織はトロントとボンにある。

会員企業名

ダイハツ、富士重工、ゼネラルモーターズ（GM）、日野、いすゞ、マツダ、三菱自動車、日産ディーゼル、日産自動車、トヨタ、これに加え、二輪車メーカーとして、本田、川崎、スズキ、ヤマハ。

MASAAM について

(マレーシア)

正式名称

Motorcycle And Scooter Assemblers And Distributors Association of Malaysia

目的

- マレーシアの二輪車産業を興隆させる。
- 二輪車産業について政府のあらゆる機関と会議・協議を行う。
- 二輪車部品の製造業を育成・発達させる。
- 国内および国外の組織と交流する。

活動

- 二輪車排ガス基準を策定するために環境省と協力している。
- 道路交通安全の促進をうったえる政府キャンペーンを支援している。
- 地域および国際レベルの会議に参加している。

沿革

二輪車メーカーに共通した問題を協議する団体として活動するために 1971 年 3 月に設立。

正式名称

Motorcycle Development Program Participants Association

目的

スポーツ利用およびレクリエーション利用を強調した二輪車の広範な普及促進に向け、強力な市場開拓活動に協力する。

政府の目標にそって二輪車部品を生産する中小企業の設立および拡大を奨励・支援する。

活動

毎年、モーターサイクル・ショーを開催している。

毎年、ジャーナリストを対象に二輪車「無料」ライディング・スクールを開催している。

民間団体により開催される自動車ショーに参加している。

二輪車産業に関係している政府政策に関する協議に積極的に参加している。

二輪車による大気汚染の防止・抑制などフィリピン政府の環境保護政策に協力している。

沿革

1973年に基本的なガイドラインを定めて設立され、投資委員会により承認された。参加資格を得た大手企業は、Honda Philippines, Inc.、Kawasaki Motors (Phils.)、Norkis Trading Company, Inc.、Suzuki Phils., Inc.であった。当時、この二輪車団体は Philippine Motorcycle Manufacturing Program (PMMP)と呼ばれていたが、1987年に新たなガイドラインが策定され、それに基づきプログラムの名称も Motorcycle Development Program と変更された。これに伴い、新たに三輪車メーカー 2 社の加盟が認められた。1989年には団体の名称が Motorcycle Development Program Participants Association, Inc. (MDPPA) に改められた。MDPPA の会員は現在、S.C. Kymco Philipinas, Inc.を含め 6 社である。

正式名称

Society of Indian Automobile Manufacturers

目的

インドの自動車（乗用車、二輪車、三輪車、多目的車、商用車）および車両用エンジンのメーカーを代表するインド最大の団体である。様々な問題について、自動車業界、政府、国内および国外の組織とが共に行動を起こすために方策を提示する。自動車産業に関する情報をその様々な定期刊行物を通じ提供する。また、国際的に競争力あるインド自動車産業を発展・強化するとともに、自動車産業が責任ある企業市民としての役割を果たすことを支援する。

活動

SIAM は、様々な問題について、自動車業界、政府、国内および国外の組織とが共に行動を起こすために方策を提示している。政府が政策策定のために設立する種々の委員会において、自動車産業を代表している。様々な定期刊行物を通じて自動車産業に関する情報を提供している。自動車の技術進歩に関心を払い、自動車排ガス制御や道路交通安全などの問題に対して関心を高める様々な活動を推進している。また、トレード・フェアの一環として2年に一度開催されるオート・エキスポを CII および ACMA とともに開催している。

沿革

自動車産業の発展のために積極的な役割を担うべく約 40 年の前の 1960 年にインド自動車産業を代表する組織、Association of Indian Automobile Manufacturers (AIAM)として発足。1999 年に AIAM のメンバーに大手国際メーカーを加え、より柔軟な活動を行うために Society of Indian Automobile Manufacturers (SIAM)に改組。SIAM は、自動車産業が国際的な競争力と責任感とを有する企業市民として発展するために活動している。

SMCTA について

(シンガポール)

正式名称

Singapore Motor Cycle Trade Association

目的

以下の事柄を追求する。

メンバー間に友好関係を醸成し、温かい協調関係をつくる。

二輪車の取引について研究し、ビジネス・チャンスをつくりだす。

取引にかかわる会員にアドバイスをを行い、不必要な出費あるいは損失を予防し、かかる範囲において二輪車取引を改善する。

活動

夕食会、「散歩とジョギングのカストロール・チャレンジ」、クリスマス会などの社会活動を毎年行っている。また、今年はサンテック市で 11 月 11～19 日に開催されるモーターショー 2000 にシンガポールのディストリビューターの 90% が最新モデルを出品するなどの支援を行う。

組織構成および役員

SMCTA の最高組織は理事会 (executive committee) である。理事会のメンバーは、会員の 2 年の 1 度の選挙により選出される。SMCTA は、15 名の理事会メンバー、2 名の組織内監査役、12 名の委員会メンバー、1 名の常勤事務局役員により構成されている。

沿革

二輪車の取引業者の利益と厚生を維持するために、また、SMCTA 定款に定められた合法的目標を達成していくために、1971 年に設立された。

TAIA について

(タイ)

正式名称

Thai Automotive Industry Association

目標

自動車産業の繁栄のために、また、国家経済の改善に向けた政府産業政策の実施のために、会員間の仲介として活動する。

活動

ニュース / 情報の収集・交換の中核となっている。

会員の業務に関する工場見学、セミナー、コンフェランスを主催している。

国内および国外の組織と協力し、情報交換およびコンフェランス開催を行っている。

様々な政府機関および政党の影響下でない他の関連組織に対し、アドバイスおよび提言を行っている。

沿革

組立・生産工場の業務に役立つ組織として 1981 年 7 月 15 日に設立。自動車および二輪車の部品メーカー、乗用車および二輪車のエンジン組立・生産工場を含む。

正式名称

Taiwan Transportation Vehicle Manufacturers Association

目的

会員が業務に関係した事柄で協力する、共通の利益を高める、製造技術を向上させる、競争力を強化する、国家経済の発展を促進することについて、支援を行う。

活動

国内および国外の自動車の生産および販売統計ならびに市場情報を収集している。

国際的なフェアおよびコンフェランスに参加するため代表団を送っている。

セミナーを開催し、国内および国外の専門家を招いている。

所轄当局から委託された特定のプロジェクトまたはサービスを実施している。

会員の見解を提言として政府に提出している。

沿革

Taiwan Transportation Equipment Manufacturers Association として 1948 年に設立。

1955 年の改組に伴い現在の名称となる。会員は、自動車、二輪車、自転車、関連部品の生産に携わる台湾の 600 社以上のメーカー。上記 3 つの輸送車両を代表する台湾唯一の製造者協会である。